三重県

熊野古道伊勢路

謎解きノート



小学校
4・5・6年生向け



名前

さあ、謎解きの旅に出発だ！

「熊野古道伊勢路」は、昔の人々が、伊勢から熊野を目指して歩いた道で、その中にはけわしい山の道も多くあります。どうして昔の人々は、けわしい山の道があるのに、伊勢から熊野を目指したのでしょうか。そして、現在の「熊野古道伊勢路」はどうなっているのでしょう。

ぜひ、皆さんにその謎を解いてほしいと思います。そのためには、この冊子を順番に読み進めながら、問題とワークテーマに挑戦していきましょう。この冊子と一緒に「熊野古道伊勢路」を歩けば、謎解きの旅がますます楽しくなるはずです。



これが「熊野古道伊勢路」です。

これが「熊野古道伊勢路」の地図です。次のページから始まる「謎解き」にも関係してくるので、しっかり見ておきましょう。



目次

さあ、謎解きの旅に出発だ！……1
謎解き1「熊野古道」の正体を探ろう！……3
謎解き2「熊野古道」の目的地を探ろう！……5
謎解き3「熊野古道伊勢路」の特徴を探ろう！……7
謎解き4「熊野古道伊勢路」の自然を探ろう！……9
謎解き5「熊野古道伊勢路」を守るとは？……11
さらなる、謎解きの旅に出よう！……13
熊野古道伊勢路を歩いて、地域の産業を学ぼう！……裏表紙

謎解き1

「熊野古道」の正体を探ろう!

まず初めに、「熊野古道」とは一体何なのか、その正体を探ろう。



ヒント 「熊野古道」には「世界遺産」が含まれています。

私たちが住む地球には、すばらしい自然や建物が多くあります。その中でも大切に守り、未来に残していく価値のあるものを「世界遺産」といいます。現在、世界中に1,000件を超える世界遺産が登録されており、**「熊野古道」は、2004年に日本で12番目に登録された三重県で唯一の世界遺産です。**

もんだい

世界遺産の写真と名前を結び付けよう。名前の空欄には漢字やひらがな、カタカナが入るよ。



ヒント 「熊野古道」は道が世界遺産になっています。



もんだい

三重県を通る熊野古道のルートの名前と、出発点となる有名な神社の名前を空欄にひらがなで書こう。

※熊野古道の道のすべてが世界遺産に登録されているわけではありません。

「熊野古道」の世界遺産の正しい登録名は「紀伊山地の霊場と参詣道」といいます。「紀伊山地」は三重県、奈良県、和歌山県にまたがる山地で、「霊場と参詣道」とは、神社やお寺などがある神聖な場所と、そこに歩いてお参りをするための道です。このように特別な道であることから、世界でも珍しい**「道」の世界遺産**として認められました。

「熊野古道」のルートには「伊勢路」「中辺路」「大辺路」「小辺路」などがあり、この中で**三重県伊勢市の「伊勢神宮」**にお参りをした人が、**「熊野三山」(熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社)をめざして歩いたのが「熊野古道伊勢路」です。**

ワークテーマ

「熊野古道」の前に登録された日本の世界遺産を調べて書き出してみよう。

次は「熊野古道」の目的地になった場所について探るぞ!

謎解き2

「熊野古道」の目的地を探ろう!

どうして昔の人は「熊野古道」を歩いたのだろう。



ヒント だれでもお参りできた「熊野三山」

京都に都があった千年以上前から、人々は「熊野古道」を通って「熊野三山」(熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社)にお参りしました。日本では昔から自然の中に神さまや仏さまがいると信じられており、険しい山と海が広がる熊野は、神さまや仏さまがいる場所とされたのです。

また、熊野の神さまや仏さまは、身分や性別に関係なくすべての人を受け入れてくれるという教えから、だれでもお参りすることができました。そのため多くの人が**「熊野三山」をお参りする「熊野詣」に行き、死んだあと生まれ変わって幸せになれるようにと願ったのです。**



熊野本宮大社



熊野速玉大社



熊野那智大社



那智の滝



「那智の滝」は、滝そのものが神さまとしてまつられているんだ。

目的地
熊野□□

ここは漢字を入れてね

お参りすること
熊野□□□

ここはひらがなを入れてね

もんだい

熊野古道の3つの目的地をまとめて何というかな。また、目的地をお参りすることを、何というかな。空欄に漢字やひらがなで書こう。

ヒント 江戸時代に整備された「熊野古道伊勢路」

多くの人が**蟻の行列のように「熊野三山」にお参りに行く様子から「蟻の熊野詣」とよばれるようになりました。**その中でも、「熊野古道伊勢路」は、江戸時代に伊勢神宮へのお参りを終えた旅人が、「熊野三山」をめざして通った道です。江戸時代の記録では、伊勢神宮から熊野三山をめざした旅人は、毎年1～3万人もいたそうです。

もんだい

行列になって多くの人が「熊野詣」に出かけた様子を、虫にたとえて何といったのかな。また、「熊野古道伊勢路」の世界遺産に登録されている石畳の道が整備されたのは、何時代かな。空欄に答えを書こう。

虫にたとえて
□□の熊野詣

ここはひらがなを入れてね

整備されたのは
□□時代

ここは漢字を入れてね



ワークテーマ 当時の人は何のために「熊野古道」を歩いたのかまとめてみよう。

次は「熊野古道伊勢路」の特徴について探るぞ!



謎解き3

「熊野古道伊勢路」の特徴を探　ろう!

「熊野古道伊勢路」は、他のルートとどこがちがうのだろう。



ヒント 美しい「石畳」と「峠」を越える道が特徴

「熊野古道伊勢路」には、**ツヅラト峠、馬越峠、松本峠などたくさんの峠があります。**電車もバスもない江戸時代の旅人は、険しい峠をいくつも越えながら、伊勢から熊野まで5日間ほど歩かなければなりませんでした。

しかも、**伊勢路が通る「東紀州」は、日本でも有数の雨が多い地域です。そのため雨で山道がくずれることのないよう、当時の人は石を敷きつめ「石畳」をつくりました。**美しい石畳が続く道は、今では「熊野古道伊勢路」の特徴となり、訪れる人の目をなごませてくれています。

もんだい

「熊野古道伊勢路」が通る雨の多い地域の名前と、雨で山道がくずれないようにつくられたものの名前は何かな。ア～ウから選ぼう。



美しい石畳が続く逢神坂峠の道

「熊野古道伊勢路」が通る雨が多い地域の名前

ア 伊勢志摩　イ 東紀州　ウ 伊賀　答え [　]

雨で山道がくずれないようにつくられたものの名前

ア 石畳　イ ほそう道路　ウ じゃり道　答え [　]



「熊野古道伊勢路」が通る東紀州の「尾鷲市」は、あめ玉のような、どしゃ降りの雨が降ることで有名なんだよ。

現代でも大雨は大変なのに、当時の人にとっては命がけの旅だったんだね。



ヒント 海岸（七里御浜）沿いを通る世界遺産「浜街道」

熊野市と御浜町、紀宝町には、海岸沿いを通る「浜街道」があります。当時は橋も十分に整備されていなかったため、旅人は波が引く合間に浅いところを走って渡りました。しかし、時には波にのまれて亡くなった人もいて、今でもその人たちをまつる石碑があります。

また、「松本峠」のふもとにあり波や風にけずられた自然の芸術品のような**「鬼ヶ城」**や、「浜街道」沿いにあり大馬神社を守るこま犬といわれる**「獅子岩」**、高さ45メートルの大きな岩を神さまとしてまつっている**「花の窟」**は、すべて**世界遺産の一部**です。



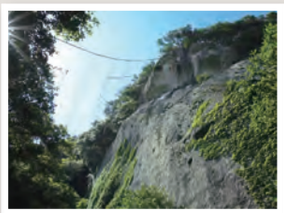
どこもぜひ行ってみたいね。

もんだい

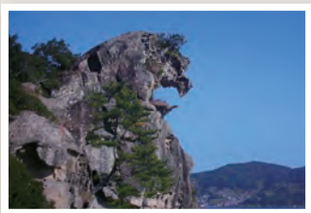
「浜街道」にある世界遺産の写真の名前は何かな?線で結び付けよう。



荒波にけずられた自然の芸術品



高さ45mの岩が神さま



こま犬のような岩

獅子岩　鬼ヶ城　花の窟

ワークテーマ

「熊野古道伊勢路」に関係のあるお祭りやイベントを調べてみよう。

次は「熊野古道伊勢路」の自然について探るぞ!



謎解き4

「熊野古道伊勢路」の自然を探　ろう!

「熊野古道伊勢路」にはどんな動植物が見られるのだろう。



ヒント 自然の恵みを受けて育つ植物

「熊野古道伊勢路」が通る**東紀州は、一年中他の地域よりあたたかく、日本でも有数の雨が多い地域です。**伊勢路を歩くと、こうした気候の特徴にあった植物を見ることができます。また、東紀州では、ヒノキやスギなどの木材を生産する**林業**がさかんで、全国的にも有名です。



尾鷲ヒノキ

最高の木材とされたヒノキの中でも、東紀州の尾鷲のヒノキは高い評価を受け、伊勢志摩サミットでは、首脳会議の円卓に使用されました。

シダ・コケ

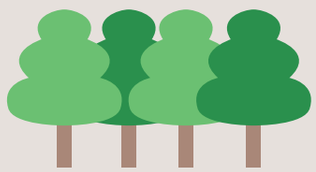
太陽の光が届きにくく、湿度の高い「熊野古道伊勢路」には、シダやコケの仲間がたくさん見られます。


ウラジロ


ヒノキゴケ

もんだい

ヒノキやスギなどの木材を生産する産業は何かな。名前の空欄には漢字が入るよ。



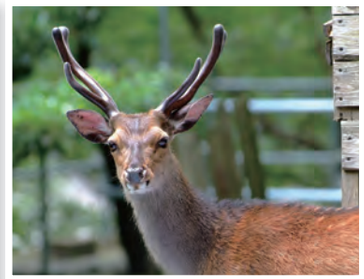
答え □□



ヒント 熊野古道沿いで生きる動物たち

「熊野古道伊勢路」には植物だけでなく、イノシシやシカ、サルなどの動物が見られます。イノシシはえさを求めて土を掘り起こしたり、シカは草木を食いちぎったりします。**昔の人は、田畑をイノシシやシカから守るため、長い石積みの「しし垣」をつくりました。**


ニホンザル


ニホンジカ


イノシシ

もんだい

昔の人がイノシシやシカから田畑を守るために作ったものは何かな。□にひらがなをいれよう。

答え □□垣


大吹峠にあるしし垣



ワークテーマ 「熊野古道伊勢路」の動植物の中で、この冊子にのっていないものを調べてみよう。



謎解き5

「熊野古道伊勢路」を守るとは?

「熊野古道伊勢路」を守るためにできることは何だろう。



ヒント 「熊野古道伊勢路」におとずれた危機

「熊野古道伊勢路」は江戸時代以降に整備され、お参りに向かう人だけでなく地域の人の生活・産業の道としても使われていました。しかし、**明治時代になると交通機関が発達し、昭和時代に列車や自動車が走るようになると、だんだん使われなくなり、荒れていきました。**

歴史のある「熊野古道伊勢路」を守るため、東紀州地域の住民や市町村、三重県が一緒になって、整備をすることになりました。**地域が一体となって取り組んだ「熊野古道伊勢路」を守る活動のおかげで、世界遺産の登録につながっていったのです。**

もんだい

荒れてしまった「熊野古道伊勢路」は、その後どうなったのかな。

ア～**ウ**から1つ選ぼう。

ア クマがたくさん出て通る人をおびやかした。

イ もう使われることはなくなった。

ウ 地域が一体となって守る活動を行った。



尾鷲市の九鬼港に入る大阪商船

(大阪ー名古屋間の定期便)

明治時代以降、さまざまな交通機関が発達し、陸上だけでなく、海の交通も重要な役割を果たすようになりました。

答え □



国道や列車の線路は、東紀州では昭和時代にできたんだよ。



交通が便利になったことで、「熊野古道伊勢路」が使われなくなってしまったんだね。

ヒント 「熊野古道伊勢路」を守る活動

「熊野古道伊勢路」のそれぞれの峠道には**「保存会」があり、「熊野古道伊勢路」のそうじや危険な所の点検、修復などの活動をしています。**台風などで被害を受けたときに元通りに直してもらえるのも、「保存会」の皆さんのおかげです。

また、世界遺産である「熊野古道伊勢路」を守り伝える活動を応援するため、**「熊野古道サポーターズクラブ」**をつくり、個人や企業の皆さんが、定期的にサポート活動(枯れ木を取りのぞくことや、ごみ拾い、道を安全に管理することなど)に参加していただいています。



始神峠の橋の整備の様子



草木を刈って道を整備(荷坂峠)



松本峠の整備の様子

もんだい

「熊野古道伊勢路」を守る活動についての感想を書こう。

感想

ワークテーマ **「熊野古道伊勢路」を守るためにどんな活動がされているのかな。**

次は「熊野古道伊勢路」について、もっと知ることができる場所に行こう。



さらなる、謎解きの旅に出よう!

「熊野古道伊勢路」をもっと知ることができる場所はどこだろう。



三重県立熊野古道センターに行こう!



「熊野古道伊勢路」について、まだ分からないことがある人、もっと知りたくなった人にぜひ行ってほしいのが三重県立熊野古道センターです。**「熊野古道伊勢路」とその周辺の地域の歴史、自然、文化を紹介する**「常設展示室」や「映像ホール」などがあり、「熊野古道伊勢路」に関係のあるいろいろな謎が解けるはずです。

映像ホール



ハイビジョン映像で熊野古道の歴史や季節ごとの美しい風景が放映されています。

企画展示室



貴重な資料を全国各地から集め、より深くテーマをしぼった企画展を開催しています。

語り部さんと熊野古道を歩こう!

熊野古道や地域の歴史、文化、自然を紹介しようと、世界遺産登録前の1999年、「熊野古道語り部友の会」ができました。語り部さんと歩いて熊野古道の詳しい説明を聞いてみませんか。(※有料)





語り部申し込み先

熊野古道語り部友の会事務局((一社)東紀州地域振興公社内)
0597-89-6172(平日8:30〜17:15)
https://kumanokodo-iseji.jp/kataribe/

三重県立熊野古道センター

住所:尾鷲市向井12-4　開館時間:9:00〜17:00
TEL:0597-25-2666　休館日:12月31日、1月1日
料金:入館無料
URL:https://kumanokodocenter.com/

※状況に応じてイベントの中止や一部施設もしくは全館を休館する場合がありますので、事前にお問い合わせのうえお越しください。

常設展示室



熊野古道とその周辺の歴史、自然、文化をいろいろな資料で紹介されており、熊野古道の魅力が詳しく分かります。

世界遺産の登録

世界遺産の説明や、世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」を紹介する様々な美しい映像が鑑賞できます。





熊野古道を歩いた人々

「熊野古道伊勢路」の中でも代表的な6つのシーンを、資料を元に再現されたミニチュアジオラマにより、江戸時代の旅人とそこに暮らす人々の生活の様子を紹介しています。また、お参りに向かう人々の服装や道具などの資料も見ることができます。

熊野古道の自然・生活史

自然史のコーナーでは、熊野古道やその周辺で出会える様々な動植物を、写真や標本で説明しています。生活史のコーナーでは、この地域で暮らす人々が自然とのかかわりの中で育んできた伝統産業、林業、漁業、農業などの生活の様子を、写真や映像などで説明しています。





熊野古道伊勢路サイト

URL:https://www.kodo.pref.mie.lg.jp

熊野古道伊勢路を歩いて、地域の産業を学ぼう!



東紀州の豊かな自然を生かした体験をしたり、石畳が美しいことで有名な「馬越峠」を日帰りで歩いたりしてみよう。

林業体験



実際に山林に入ってノコギリなどの道具を使い林業を体験します。

ヒノキ箸作り体験



尾鷲ヒノキの間伐材を使って、世界でひとつだけのマイ箸を作ります。

干物づくり体験



尾鷲の新鮮な魚を使った、干物作りを体験します。



日帰りコース例

出発!

- 紀勢道 海山インターチェンジ
- 馬越峠ウォーク&昼食
- **体験メニュー**
- 熊野古道センター見学
- 紀勢道 尾鷲北インターチェンジ



●問い合わせ：尾鷲観光物産協会(0597-23-8261)

他にもこんな体験メニュー＆見学スポットがあります。



さんま寿司・めはり寿司づくり

●問い合わせ：熊野市観光公社
(0597-89-2229)



木工製品製作体験

●問い合わせ：熊野市観光公社
(0597-89-2229)



道の駅 紀宝町ウミガメ公園

●問い合わせ：ウミガメふれあいパーク
(0735-32-3686)

詳しくは、それぞれの問い合わせ先へお願いします。

監修：三重県立熊野古道センター
三重県教育委員会事務局小中学校教育課
三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課

発行：三重県地域連携・交通部南部地域振興局 東紀州振興課
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL：059-224-2193　FAX：059-224-2418

本書掲載の文章、写真およびイラスト、図等の無断転載、無断引用、二次配布についてはこれを固く禁じます。